

# 東京バッハ合唱団 月報

[第 641 号] 2015 年 11 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101

Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3- 47604

Mail: office@bachchor-tokyo.jp http://bachchor-tokyo.jp/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No. 641

November 2015

5-17-21-101 Funabashi,  
Setagaya-ku, Tokyo

〈3.11 被災地訪問演奏=福島県・南相馬公演〉

## 報告コンサート@すぎなみ、終了

### 私たちの深淵の聖なるものと触れ合うとき

飯石 明子 (団員: ソプラノ)

今年前半から、南相馬での公演に向け大いに盛り上がっていたコンサートの練習の成果があり、8月22日の本番が大成功に終わり、私は残念ながら参加できなかったのですが、参加された皆様の、南相馬での手ごたえを満足そうに語り合う御様子をうらやましく思いました。

幸い9月26日に荻窪教会で、「報告コンサート・すぎなみ」が開催され、それには私も参加しました。プログラムは南相馬の公演と同じもので、最初は「カンタータ Nr. 92 《わが心 思い 神にゆだねたり》」、ソプラノから順にメロディを追いかけていく美しさに酔いながら、次第にバッハの世界へと引き込まれていきました。次の曲は、東日本大震災の後に出来た「大切なふるさと」と「花は咲く」の二曲、そして古くから歌われている「故郷」でした。想像を超えた苦難を必死で乗り越えてこられた被災地の人々のご苦勞を偲び、歌いながら胸が一杯になりました。

15分の休憩の後、再びバッハカンタータ Nr. 81 《主イエス眠り いかによきわが望み》を歌い、美しいメロディと大村先生の訳詞の素晴らしさ、これが南相馬の人々にも伝わったことに思いを馳せ、最後に、モテット《イエス よろこび》の曲がドラマチックに響きわたり、ハーモニー、ポリフォニーの美しさ、複雑さが良く表され、心行くまでバッハの曲を歌いました。

バッハ音楽は、なぜ300年もの長い間、人々に愛されてきたのだろうとまた考えさせられました。バッハ



の心髄の聖なる境地から発した曲想が、私たちの深淵の聖なるものと触れ合ったとき、人々はこの上なく感動を覚えるのではないのでしょうか……、同じ人間同志でありながら、価値観や宗教観の違いでいがみ合いが続くこんな世界で、心を開き、開放し、共有できるものがあつたなら……。

「報告コンサート・すぎなみ」に参加して、色々考えさせられる機会に恵まれましたことを心から感謝したいと思います。

#### 会場アンケートより抜粋

- ・日本語で歌ってくださったので、理解しやすかった。セリフ [歌詞] がすばらしい。ドイツ語よりもずーっと良い。「みんなで歌いましょう」は、wonderful!
- ・初めて聴かせて頂き、心より大村先生のお働きに感謝申し上げます。今後とも南相馬市との関係を築き、主の導きにより、たくさんの方々的心を打つ演奏会となりませうようお祈り致しております。
- ・なるほどバッハはチョーむずかしいらしい。第2部のテノールをきいて思いました。男性陣のかんばり、すてきでした。お仕事以外のこういう姿をもつこと、人生において大切です。私は信者ではありませんが、バッハ大好きです。すてきな機会をありがとうございます。
- ・コーラスが重厚で素晴らしかった。
- ・すばらしい公演でした。ありがとうございました。教会での演奏は、特に心洗われる思いがします。南相馬の方々も感動なさったことと思います。重ねて御礼申し上げます。84歳男性。 【次ページへつづく】



■「報告コンサート@すぎなみ」2015年9月26日、荻窪教会。写真左：第1部、南相馬ツアー報告ビデオ上映。写真上：第2部、コンサート。坂田和泉 Vn、伊藤恵以子 Vc、石川優歌 Org、指揮・大村恵美子。写真提供：いずれも、市川義和氏 (後援会員、荻窪教会員)

- ・厚みのある合唱、すばらしかったです。
- ・いつもながらの真実な演奏会に感謝いたします。南相馬の方々との一部合同での演奏が、どんなにか力強いものとなったことでしょう。バッハの曲の後押しを得て、支援曲のすべてにあって、慰めと希望を与えたものと思われま。ありがとうございます。終曲のモテットがもっともよかったです。
- ・とても素晴らしい歌声に感動しました。復興支援ソング「大切なふるさと」「花は咲く」「故郷」いい曲ですね。本日はとても心が和み、いやされました。有難うございます。
- ・音楽面だけでなく、被災地の復興支援に関わる働きもされて、敬服です。ありがとうございました。
- ・高音が美しく、感動いたしました。
- ・皆さんの歌声にいやされました。これからも良い活動の時をもたれますようお祈り申し上げます。
- ・教会でのアットホームなコンサート、暖かさが伝わりました。
- ・南相馬の方々のことを思い、よい時間を過ごさせて頂きました。バッハの日本語演奏は、どうしても違和感をおぼえた。日本語で歌うのは難しいと思うのだが、高いソプラノがよく出ていた。
- ・初めて日本語訳を聞きました。文字をおって、コーラスを聞き、幸せです。

## 南相馬の演奏会に参加して

石井 百合子（団員：ソプラノ）

東京バッハ合唱団に入団して初めての演奏会が、この南相馬の演奏会でした。そして、東北の震災以降直接関わることができていなかった、被災地を知る初めての機会にもなりました。

新宿からチャーターバスで出発し、檜葉インターでの休憩の際、線量計を目にしたのが最初に被災地であることを感じた時です。思わず深呼吸したくなるような緑の香りのする自然豊かな所に、目には見えない有害な放射能があると思うと、とても複雑な気持ちになりました。続いて走る高速道路から見える除染中の旗と、汚染物質の入ったビニール袋。荒れ果てて人影のない民家。自由時間に歩いた商店街は人通りも少なくひっそりとし、なんとも言えない寂しさを感じました。津波の被害にあった海沿いの地域の見学では、人間には計り知れない自然の偉大さと恐怖感を味わい、胸が締め付けられる思いでした。

現地合唱団の方々との前夜の懇親会では、友人が何人も津波にさらわれたという話、未だ避難所で暮らしているという話、地震が来るまでは気候、食べ物(魚、野菜、果物、お米)に恵まれ、とても住みやすい所だったという話、等々、様々な生の声を聞きました。それでも皆さん「前を向かないと、始まらないから！」とがんばっておられました。

一緒に歌った3曲(「大切なふるさと」「花は咲く」「故郷」)は、現地で見た景色や聞いた話とが重なり、

胸がつまってよく歌えませんでした。かえって永田先生の心のこもった指揮と皆さんの歌声に力づけられる気持ちでした。

百聞は一見にしかず、との言葉通り、短い時間でありましたが、良い交流が出来、感じる事の多い貴重な時となりました。また、演奏会の私たちの合唱で少しでも慰められた方がおられたら嬉しく思います。

## ゆめはっと合唱団、藤澤団長からお便り

(9月26日、荻窪教会での「南相馬公演・報告コンサート」をもって、構想から4年を要したプロジェクトは、豊かな成果を残して終わりました。

南相馬の皆さまへの感謝の気持ちをこめ、また僅かながらも被災地支援にお役立ていただこうと、コンサート当日の聴衆の方々、演奏者・団員から寄せられた募金を、さっそく「そうま地方合唱を楽しむ会」宛てにお送りしたところ、折り返し、藤澤正孝様(同会会長、ゆめはっと合唱団団長)より、受領のご連絡とお手紙をいただきましたので、ご紹介します。

8月22日の出会いは、私たちと南相馬の皆さまとの出会いの第一歩で、これから将来にわたって同時代人同士としてのお付き合いがくり広げられることを、期待します。

大村 恵美子)

\* \* \*

先生からのお手紙、うれしくて何回も読み返しました。南相馬にお出でいただいた演奏会が、東京バッハ合唱団にとって素晴らしい思い出になられたとすれば、貴合唱団の加藤様をはじめ、準備にあたられた方々と私たちとの心暖まる3年にわたる交流の為せるわざ、と確信いたします。

私も3年のおつき合いの中で、先生を筆頭に暖かい皆様のお人柄を、身をもって感じ、わが人生の宝物のひとつになったと思っております。

さて、恵美子先生のお手紙と共に送られてきました、杉並の聴衆の方々の貴重なカンパ50,000円につきましては、今度の練習日(10月5日、月曜日)の団役員会での諒解をえて、演奏会前夜の交流会の支出残金とともに、南相馬市の方に復興基金として贈呈したいと考えております。まことに先生を始め団の皆様の心のこもったカンパ! 有難うございます。

素敵なお縁で一緒できた貴合唱団のますますのご発展を南相馬の地から念じ、そして恵美子先生のご健康を祈りながら、感謝の言葉といたします。

ゆめはっと合唱団 団長  
藤澤 正孝

## どんな国家に生きたいのか、 これからの世界を描く一助に

大村 恵美子

エマニュエル・トッド著  
「ドイツ帝国」が世界を破滅させる  
——日本人への警告  
(文春新書、堀茂樹訳、2015年5月刊)

### 3. ロシア

目下私は容赦のない語り方をしてしていると自覚しているけれども、今、ヨーロッパはロシアとの戦争の瀬戸際にいるのであって、われわれはもはや礼儀正しく穏やかでいるだけの時間に恵まれていない。言語と文化とアイデンティティーにおいてロシア系である人びとがウクライナ東部で攻撃されており、その攻撃はEUの是認と支持と、そしてすでにおそらくは武器でもって実行されている (p. 33)。

#### 国内で支持される権威主義的デモクラシー

私が仕方なく「権威主義的デモクラシー」と呼ぶものに繋がっているのです。すなわち、強力で粗暴でさえあるが、それにもかかわらず大多数の国民から暗黙の支持を受ける体制です (p. 89)。

あの国の切り札は2つです。潜在的な富に満ちた1700万平方キロメートルの広大な国土と、……大勢のハイレベルの科学者たちを擁する1億4400万人の人口(2013年)です。国土とその資源を優秀・有能な軍隊で守りながら、世界経済がアジアと新しいテクノロジーへの移行を完遂するのを待つという戦略です (p. 92)。

21世紀初頭の頃は、いわゆる「ヨーロッパ」の諸国とロシアとの接近が印象的でした。世界で緊張の高まった時期に、この両者が共通の立場を確立したのでした。佛のシラク大統領、露のプーチン大統領、そして独のシュレーダー首相の3者が一致して、イラクへのアメリカの介入に対して拒否を表明したので (p. 107)。

### 4. ウクライナ

4500万人の住民を有するウクライナの労働人口は、ソ連時代からの遺産である教育水準の高さと相俟って、ドイツにとって例外的な獲得物となるだろう。

存在するガスパイプラインのすべてのルートを見てほしい。ウクライナを通過していることだけが共通点ではないよね。ドイツに通じているということも共通点だ。したがって、ロシアにとっての本当の問題はじつは、ウクライナだけではなく、ガスパイプラインの到着点がドイツにコントロールされているということなのだ。そしてそれは同時に、南ヨーロッパ諸国の問題でもある。ガスパイプライン「サウス・ストリーム」

が建設されないことがドイツの利益でもあるということが分かる。それが建設されると、ドイツが支配しているヨーロッパの大部分のエネルギー供給が、ドイツのコントロールから外れてしまうだろう (p. 51)。

新たな「ドイツ帝国」にとってのウクライナの利点は、まさにウクライナがウクライナとして存在していないということだ。ウクライナは2つに、あるいは3つに分かれている。崩壊途上にあるシステムなのだね。現実には、ウクライナは1度として、正常に機能するナショナルな塊として存在したことがない。見せかけの国家であり、破綻してしまっている (p. 58)。

ロシアは西側による制裁を恐れていない。しかし、中部ウクライナで憎まれることを望まない。現状ではウクライナの中心部分を成す人びとは、ロシアに対して警戒心を持っているが、しかし、ロシア人には空間と時間をうまく活用する大きな歴史的能力があることを認めなくてはいけない (p. 60)。

人口学が教えてくれること、それはウクライナ社会の静かな解体が進行しているということです。ウクライナの混濁したもう1つの側面が表面化しました。超過激な、極右勢力の存在です (p. 99)。

そうはいっても、歴史とウクライナ社会の統計学的観察から引き出した仮説にすぎません。まだ何も決定されたわけではないし、私は理性と妥協が最終的に勝利することを願っています (p. 103)。

### 5. 日本

ユーラシア大陸ブロックは、日本を加えなければ機能しないだろう。このブロックを西洋のテクノロジーのレベルに引き上げることができるのは日本だけだから。今のところ、日本はドイツよりもアメリカに対して忠誠的である。しかしながら、日本は西洋諸国間の昔からの諍いにうんざりするかもしれない。日本にとってロシアとの接近はまったく論理的なのであって、安倍首相が選択した新たな政治方針の重要な要素でもある。ここにアメリカにとってのもう一つのリスクがあり、これもまた、ドイツが最近アグレッシブになったことから派生してきている (p. 71)。

日本社会とドイツ社会は、元来の家族構造も似ており、経済面でも非常に類似しています。産業力が遅ましく、貿易収支が黒字だということですね。差異もあります。日本の文化が他人を傷つけないようにする、遠慮するという願望にとりつかれているのに対し、ドイツ文化はむき出しの率直さを価値付けます (p. 157)。

この2国は世界で最も高齢化した人口の国です。人口構成の中央値が44歳なのです。フランスではそれが40歳なのですが。フランスは女性は仕事と子供の育児を両立させることができますが、ドイツや日本ではどちらかを選ばなければならないことが多い (p. 158)。

ドイツ文化は完全に正常です！ただ、すべての人間文化がそうであるように、ドイツ文化にも非合理など

ころがあるのです。ドイツに比べ、日本では権威がより分散的で、つねに垂直的であるとは限らず、より懇慫でもあります (p. 160)。

権威主義的文化はつねに2つの問題を抱えています。1つはメンタルな硬直性、そして、もう1つはリーダーの心理的不安です。誰一人として誰がそう決めたのか知らないうちに戦争に突入してしまった日本軍のことも考えています (p. 162)。

## 6. 中国

中国はおそらく経済成長の瓦解と大きな危機の寸前にいます (p. 118)。地域の安全保障の問題として考えた場合、ドイツに比せられるのは、日本であるよりも、アジアにおける中国なのかもしれない (p. 226)。

[野田宣雄著『二十世紀をどう見るか』(文春新書)より]「ヨーロッパにおけるドイツと同様に東アジアにおいて『帝国』を志向しているのは、中国であって日本ではない。現在の日本がおかれている国際的な位置は、ヨーロッパにおけるドイツのそれよりも英、仏、伊と言った諸国のそれと比定すべきであろう。」

見逃せないのは、抬頭するドイツと中国の接近であろう (p. 229)。

## 7. ポーランド、スウェーデン、バルト3国

逆説的なことに、これらの国々は一定レベルの自由を享受している。……私はこれらの国を隷属的立場とは見なさない。……これらの国々自体が現実にこのポジションを切望しており、とりわけ反ロシアの情念に取りつかれているからだ。……ポーランド・スウェーデン・バルト3国には夢がある。ロシアを破滅させるという夢さ。

ふたたび右翼化したスウェーデンが1914年以前のあの国、すなわち親ドイツ的な国に完全に立ち戻りつつあるのかもしれないと私は考えている (p. 45)。

## 8. フィンランド・デンマーク

イギリスに近いデンマーク、ロシアに近いフィンランド (p. 46)。

フィンランドはというと、ソ連と共に生きることを学んだ国であり、ロシア人と理解しあう可能性をなんとしても疑おうとするような理由を持っていない。フィンランド人たちにとって、自分たちの国を植民地化しかねない強国は実はスウェーデンなのだ。

地図の上では、フィンランドとデンマークは南欧諸国と同様に支配されているということになる。……フィンランド経済はすでにロシアに対するヨーロッパの攻撃性の代償を支払っている。また、デンマークはイギリスが離脱していくことで困難な状態に置かれるだろう (p. 47)。

デンマークは気質において真正のリベラルだ。デンマークは西の方に目を向けており、ロシアのことをさ

ほど気に病んでいない。……デンマークはイギリスが離脱していくことで困難な状況に置かれるだろう (p. 47)。

## 9. ハンガリー

私はハンガリーを、離脱の試みという点でイギリスと同じように見なした。……ドイツのプレッシャーに抵抗するというのがオルバーン首相の評判の悪い理由だ。なぜハンガリーが反ロシアでないのか。……1956年、ハンガリーだけがソ連の圧力に正面から向かい合ったのだ (p. 49)。

ハンガリーはロシア人の支配の下で自らの歴史を誇ることができる。つまり、ハンガリー人たちは赦すことができるのだ。1970年代にハンガリーで流通したある大胆な冗談が、東ヨーロッパ内の差異を理解するのを助けてくれる。すなわち、「1956年にハンガリー人はポーランド人のように行動した。チェコ人は豚のように行動した。」新しいドイツシステムは基本的に労働人口の吸収によって成り立つ。最初の段階で使われたのは、ポーランド、チェコ、ハンガリー等の労働人口だった。ドイツはコストの安い彼らの労働を用いて自らの産業システムを再編した (p. 50)。

<つづ>

### 荻窪教会・クリスマス特別演奏会

日時=2015年12月26日(土)、午後2時開演

会場=荻窪教会、<入場無料>

・**カンタータ第40番《地に來ませり 神のみ子》**ほか、  
次回定演の演目によるクリスマス・コンサートです。

オルガン：石川優歌、合唱と斉唱：東京バッハ合唱団

#### 終演後に懇親会

午後4時ごろより、聴衆・後援会員・サポーターの方々と団員との、クリスマス懇親会を予定しています。

<予告>

### 第113回定期演奏会

2016年5月28日(土)、午後2時開演

府中の森芸術劇場ウィーンホール

“日常生活のバッハ”

- ・**カンタータ第148番《み名の栄光を讃えよ》**
- ・**カンタータ第40番《地に來ませり 神のみ子》**
- ・**カンタータ第16番《主ほめ歌わん》**
- ・**カンタータ第192番《ああ感謝せん 神に》**

[アルト] 佐々木まり子、[テノール] 鏡 貴之

[バス] 山本悠尋、[オルガン] 草間美也子

[オーケストラ] 東京カンタータ室内管弦楽団

[指揮/訳詞] 大村恵美子

入場料(全席自由席)：前売り3500円、当日4000円

チケット発売開始：2015年12月26日(予定)

予約申込み/お問合せ：東京バッハ合唱団事務局